

STAGE+を楽しむ(30)(HP 収載)

—ウィーン少年合唱団—

1. 始めに

前報(29)に引き続き、STAGE+の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、ウィーン少年合唱団の演奏を選びました。

収録配信 2023年5月28日 3:00

ウィーン少年合唱団の創立 525 周年記念コンサート

ウィーン楽友協会

1. 再配信 2023年5月28日 9:00

2. 再配信 2023年5月28日 20:00

世界中から愛されているウィーン少年合唱団は 2023 年創立 525 周年を迎えました。本映像は 2023 年 5 月にそのアニヴァーサリーイヤーを祝う、ウィーン楽友協会での特別なコンサートです。長きにわたる歴史をもつウィーン少年合唱団は、それを振り返るようにルネサンスから現代にいたるまでのプログラムを構成しました。さらにハイドン、モーツァルト、シューベルトにブルックナー、そしてヨーゼフ・シュトラウスといったオーストリアの作曲家の作品を取り入れ、これからも受け継がれていく音色を美しく響かせています。

アンサンブル:

ウィーン少年合唱団、コルス・ヴィエネンシス、ウィーン少女合唱団

コルス・ユヴェントス、プリムス合唱団

指揮:

ゲラルト・ヴィルト

曲目:

ルートヴィヒ・ゼンフル 《シュパイアーの鐘》

ジョスカン・デ・プレ 《ほめよ、主のしもべたちよ》

ジョスカン・デ・プレ 《コオロギ》

伝承曲 《ほたるこい》(小倉朗編曲)

ヤコブス・ヴァエト 《音楽は神の最良の贈り物》

クラウディオ・モンテヴェルディ マニフィカト I 10/14

アントニオ・カルダーラ 《聖霊よ来たりたまえ》

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

奉献歌 《来たれ、もろもろの民よ》ニ長調 KV 260

アントニオ・サリエリ サルヴェ・レジーナ

ヨーゼフ・ハイドン 《度の過ぎたる空しき苦悩が》 Hob. XXI:1/13

アントン・ブルックナー 《見よこれぞ大祭司》 WAB 13

アントン・ブルックナー 《エッサイの若枝》 WAB 52

フランツ・シューベルト 《魔王》 D 328 (オリバー・ギース編曲)

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト セレナードト長調 KV525

《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》(ジェラルド・ヴィルト編曲)

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン 《歓喜の歌》 (Mervyn Warren 編曲)

ヨハン&ヨーゼフ・シュトラウス 水兵のポルカ op. 52 (ジェラルド・ワース編曲)

ヨハン・シュトラウス 2世 皇帝円舞曲 op. 437 (合唱とオーケストラ版)

ルートヴィヒ・ゼンフル 《シュパイアーの鐘》



3. 試聴の経過

9:00からの再配信を試聴しましたが、受信は安定していました。

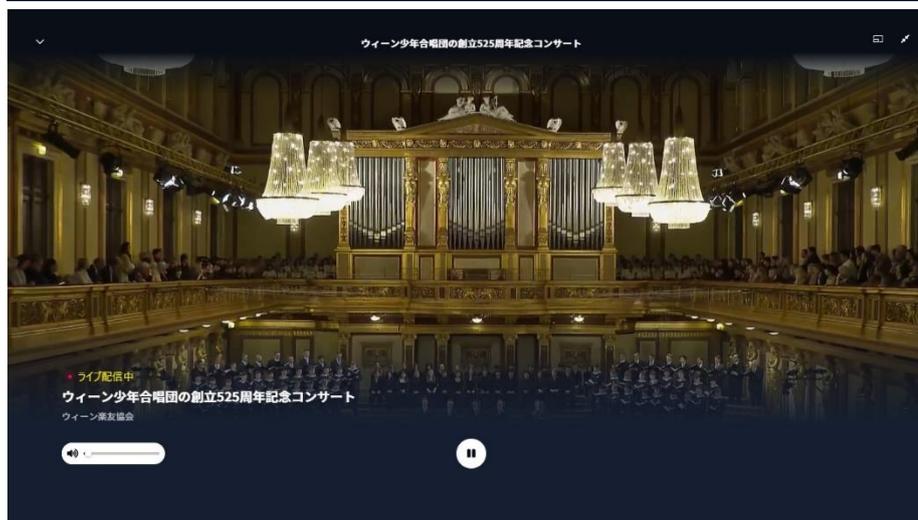
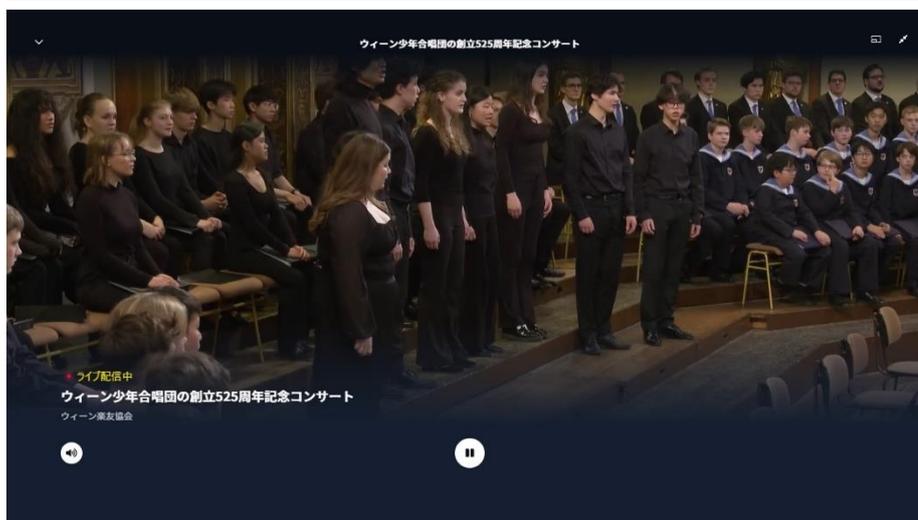
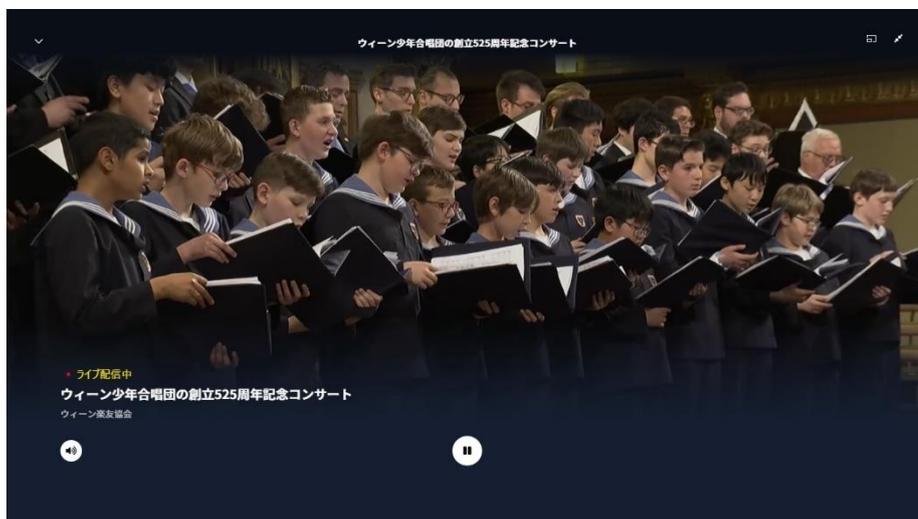
ウィーン少年合唱団が2023年で創立525周年を迎えるにあたって、コルス・ヴィエネンシス、ウィーン少女合唱団、コルス・ユヴェントス、プリムス合唱団と合同でウィーン楽友協会でのコンサートの配信です。

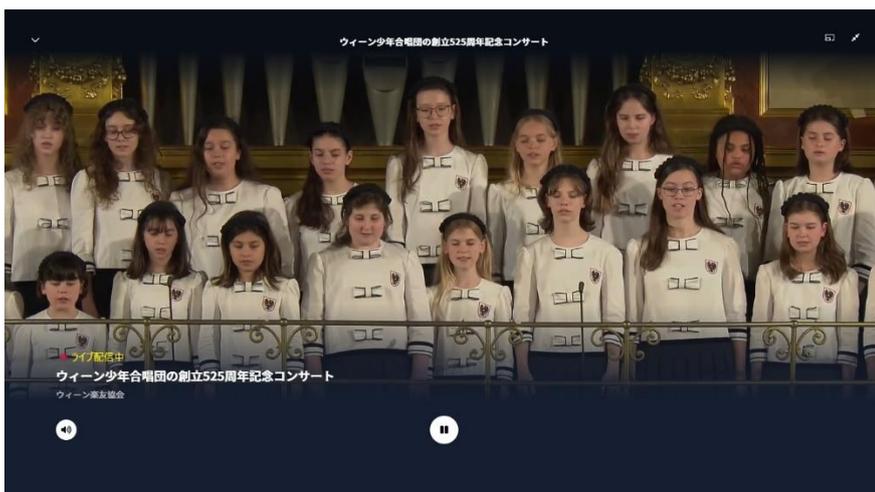
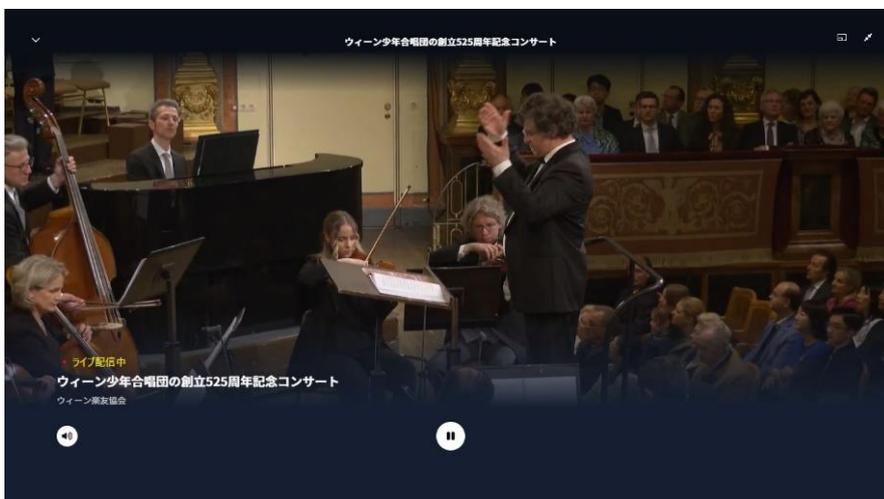
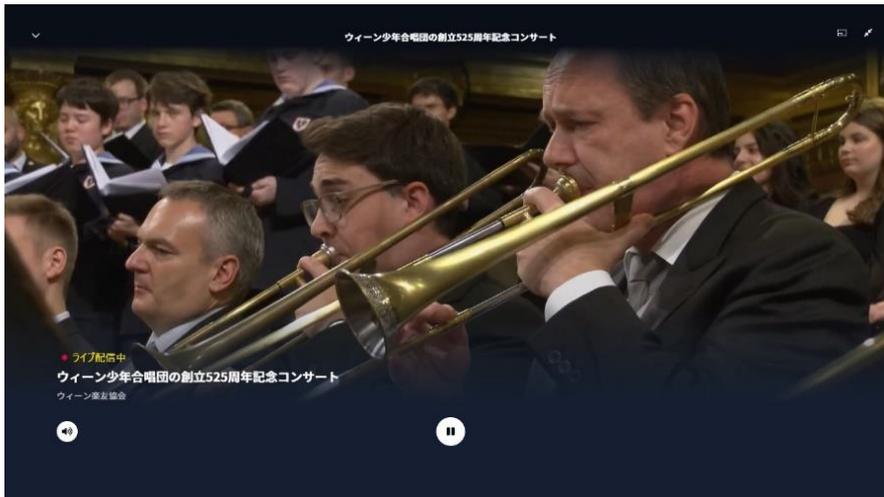
曲に合わせて、ウィーン少年合唱団単独あるいは上記の合唱団の組み合わせのアカペラないしは小編成のオーケストラやオルガンやピアノの伴奏でプログラムが進行します。

ウィーン楽友協会大ホールの音響特性に助けられ、ボーイソプラノからオーケストラの楽器やオルガンの質感も十分に再現されています。

プログラムは実に多彩で、ウィーン少年合唱団らしい美しいハーモニーの小曲から、モンテヴェルディやモーツァルトやハイドンの宗教曲、ブルックナーの大曲、ウィン

ナワルツやポルカ、さらにはベートーヴェンの歓喜の歌のジャズ風のアレンジなど、聴衆を飽きさせない趣向で、よく統率された演奏でした。





4. まとめ

以上の STAGE+配信は、最新の収録の演奏で、それだけに音質的にも満足できるレ

ベルでした。これまでの仮想アース、**MRF-005T** に加えてスピーカーアキュライザーの効果も確認できました。

以上